

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療機関行政情報システム改善事業費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度～		担当課室	指導課		課長:梶尾 雅宏		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-3-2 医療安全確保対策の推進を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	医療法第25条		関係する計画、通知等	・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について ・医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療法第25条の規定に基づく立入検査の実施を通して、地域における適切かつ効率的な医療の提供体制を整備し、医療の質の向上を図るため、立入検査結果データの集積を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県等からの報告データの集積システムを構築することにより、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査(医療機関が医療法等関連法令に規定された人員及び構造設備を有し、かつ、適正な管理を行っているか否か等について検査)の結果について迅速かつ正確に報告・集計するものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	16	9	12	13	16	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	16	9	12	13	16	
		執行額	14	6	12			
	執行率(%)	87.5%	66.7%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	病院の立入検査結果データを集積することにより、地域における医療提供体制の整備状況等を確認するとともに、以後の立入検査業務に反映させ、医療の質の向上を図る。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	病院の立入検査における検査項目に対する遵守率		活動実績 (当初見込み)	%	98.1	集計中 (前年度以上)	集計中 (前年度以上)	- (前年度以上)
単位当たりコスト	1,593(円/施設)		算出根拠	(25'予算)(22'立入検査実施施設数) 13,060千円 ÷ 8,199施設 = 1,593円				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	13	16	公表資料作成支援機能等の追加による増				
	(端末機保守料)	(-)	(-)					
	(システム運営費)	(5.9)	(6.0)					
	(システム改善費)	(7.1)	(9.6)					
	計	13	16					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	病院の実態を把握し、良質な医療の提供する上で必要な事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を集積・分析・公表することにより国が実施することが適当である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を国が毎年度公表することにより、医療機関における立入検査項目の遵守に繋がりを、医療の提供体制の整備、医療の質の向上に貢献しているものとする。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業者の選定は、一般競争入札を実施することで競争性を確保している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札による落札方式によりコスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	システムを運用するための保守・開発経費のみの支出であり、真に必要なものに限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果を国が集積・分析・公表を行うことは、一定の集約化が図られ、全国の状況を把握できる点で大変有効であり、他の手段と比較して実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	病院の立入検査における検査項目に対する遵守率は、平成22年度において、98.1%となっており、高い水準となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	都道府県等が実施した医療機関の立入検査結果については、国が毎年度公表するほか、都道府県等が他の都道府県等の立入検査の状況を把握する上で有効であり、医療機関における立入検査項目の遵守に繋がっていると考える。		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
点検 結果	立入検査結果データの集積・分析が医療の質の向上に資するものとなるような改善等を検討し、国民が求める情報の公表に努める必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	医療機関行政情報システム改善事業費については、医療法第25条に基づく医療機関への立入検査結果について迅速かつ正確に報告・集計するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	118	平成23年	0098	平成24年	075

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
12百万円



(一般競争入札)

A. ゼッタテクノロジー株式会社  
12百万円

【事業内容】

都道府県等から報告される医療法第25条に基づく医療機関への立入検査結果について、迅速かつ正確に報告・集計するシステムを構築するものである。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.ゼッタテクノロジー株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	医療機関行政情報システム運用支援	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ゼッタテクノロジー(株)	医療機関行政情報システム運用支援	12	1	99%